

令和2年度 第1回 静岡県河川審議会

現地状況資料

令和2年10月27日
静 岡 県



○白田川（賀茂郡東伊豆町白田）

1. 0.0k-0.1k 付近
2. 0.6k-1.0k 付近
3. 1.4k-1.6k 付近
4. 1.4k-1.6k 付近
5. 5.8k-6.9k 付近

○令和元年台風15号による被害状況（白田川）

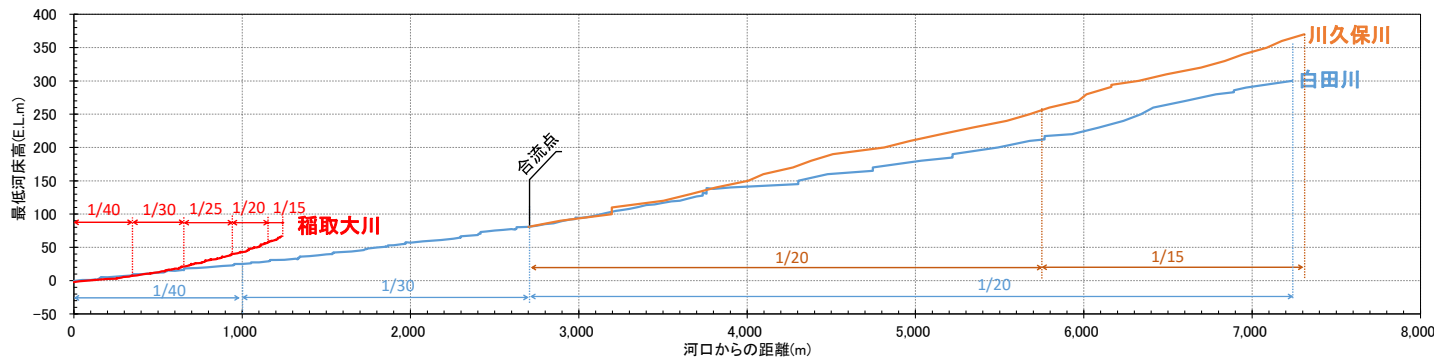
○稲取大川（賀茂郡東伊豆町稲取）

1. 0.0k-0.1k 付近
2. 0.3k-0.6k 付近
3. 0.8k-1.2k 付近

白田川（全体平面図）

- 河床勾配は、1/40~1/20と急峻であり、河床安定を目的とした落差工が整備されている。
- 県管理区間のほとんどの区間で砂防指定地となっており、流路工、護岸工など多数の砂防設備が存在する。

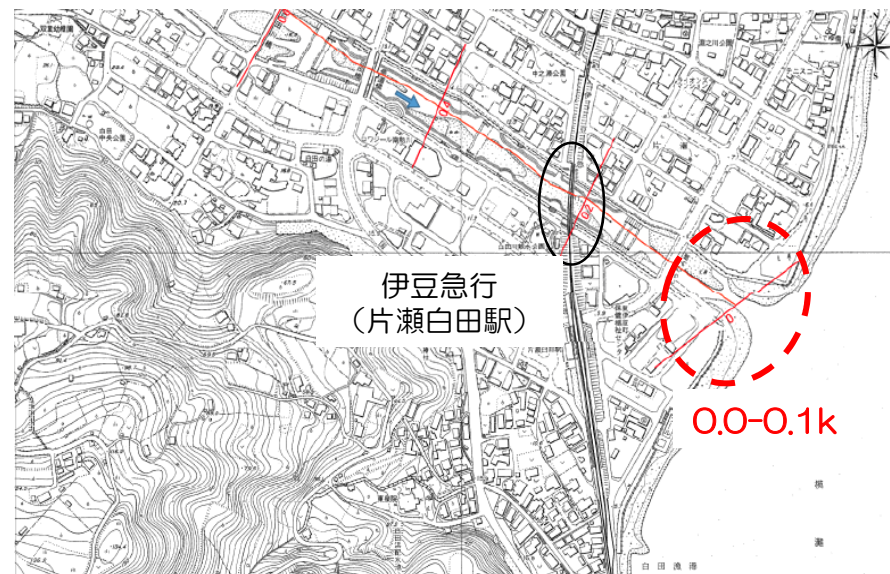
横断工作物（白田川）		
No.	名称	距離標(km)
①	床固工①	3.1
②	床固工②	3.3
③	床固工③	3.5
④	床固工④	3.7
⑤	床固工⑤	1.0
⑥	床固工⑥	1.2
⑦	床固工⑦	1.5
⑧	床固工⑧	1.7
⑨	床固工⑨	1.8
⑩	床固工⑩	2.3
⑪	床固工⑪	2.4
⑫	砂防堰堤⑫	3.7
⑬	砂防堰堤⑬	4.2
⑭	堰口川第4堰堤	4.6
⑮	堰口川第5堰堤	4.9
⑯	堰口川第6堰堤	5.4
⑰	東京電力頭首工	3.3
⑱	堰口川第7堰堤	3.6
⑲	堰口川第8堰堤	3.7
⑳	護岸工	0.3-0.8
㉑	流路工	0.3-0.8
㉒	流路工	1.2-1.5
横断工作物（川久保川）		
No.	名称	距離標(km)
23	砂防堰堤㉓	3.4
24	砂防堰堤㉔	1.4
25	護岸工	1.4
26	護岸工	1.4



図_白田川の河床勾配

白田川 (1. 0.0k~0.1k)

- 近隣に伊豆急行「片瀬白田駅」があり、周辺には住宅地が広がっている。
- 河口より流域のほぼ全域が砂防指定地となっている。
- 河口部は、右岸側に片瀬白田漁港と隣接している。
- 下流域にも大きな礫石が点在する。
- 白田川は地域海岸「稲取河津」におけるL1津波高はT.P.+5.5で津波対策が検討されている。

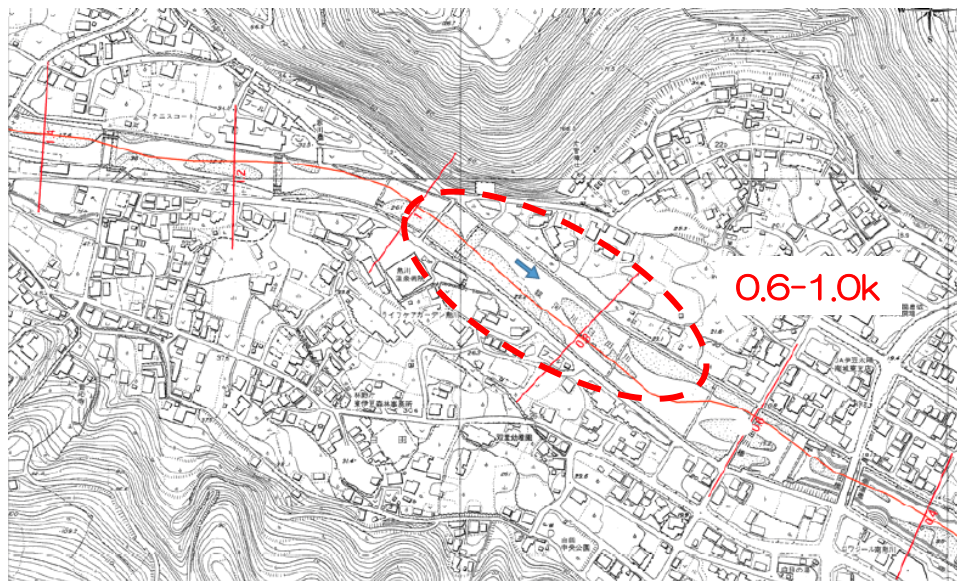


河口右岸より白田川左岸をのぞむ



河口左岸より白田川右岸をのぞむ

白田川 (2. 0.6k~1.0k)



- 町道熱川片瀬線より上流のこの区間は、左右岸に宅地が広がっている。
- 主要な医療機関「熱川温泉病院」が存在する。
- 河川と並行して道路が走っており、河道には魚道工なども整備されている。

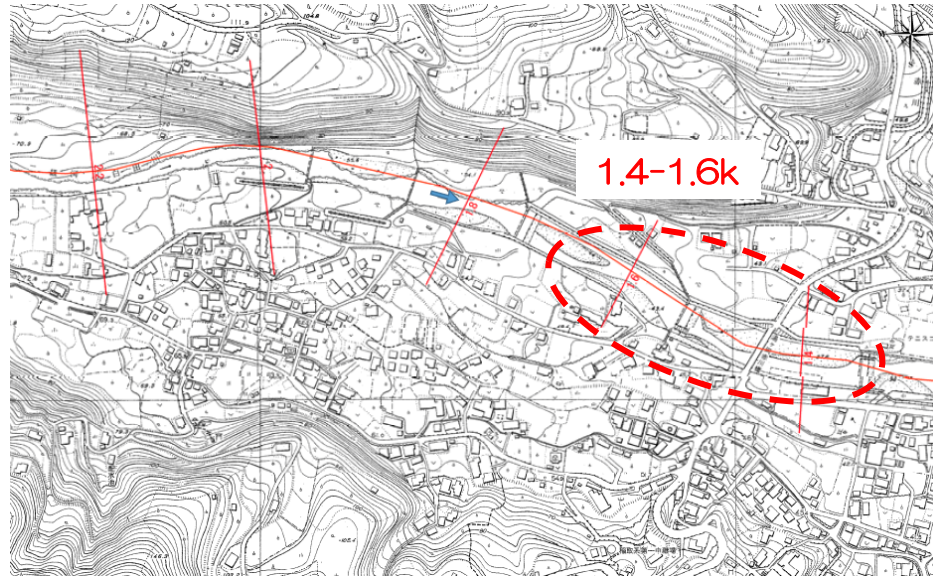


0.5k 付近右岸より上流をのぞむ



0.6k 付近から上流をのぞむ

白田川 (3. 1.4k~1.6k)



- (一) 湯ヶ岡赤川線より上流は、河川と並行した道路が分断される。
- 河床には、大きな礫石が点在している。

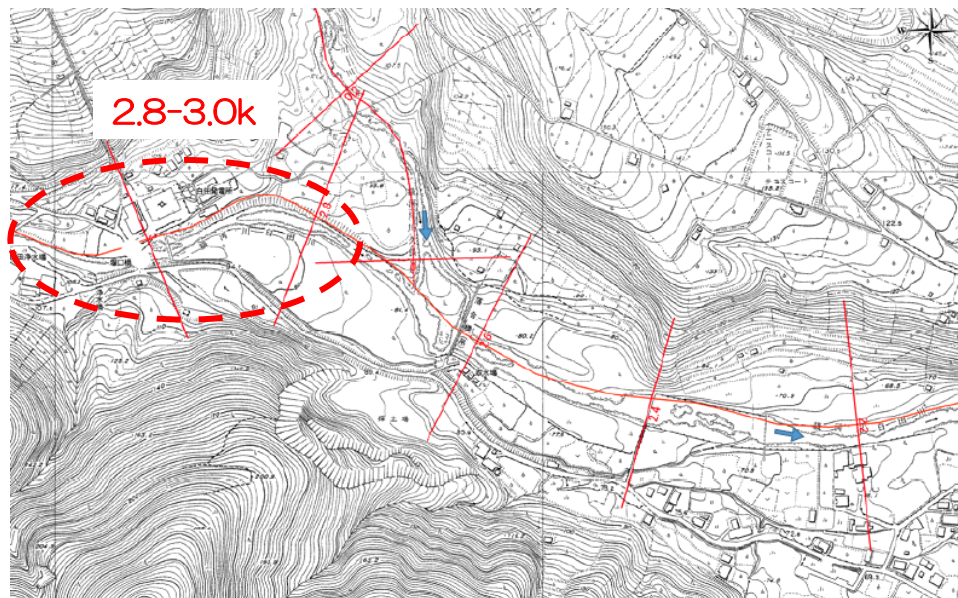


1.4k 付近左岸より湯ヶ岡赤川線橋をのぞむ



1.4K 付近橋梁より上流をのぞむ

白田川 (4. 2.8k~3.0k)



- 許可水利をもつ東京発電（株）白田川発電所が左岸側に位置している。
- 急峻で渓谷状を呈しており、河床には巨石が点在する箇所である。



3.0k 付近東京発電（株）発電所

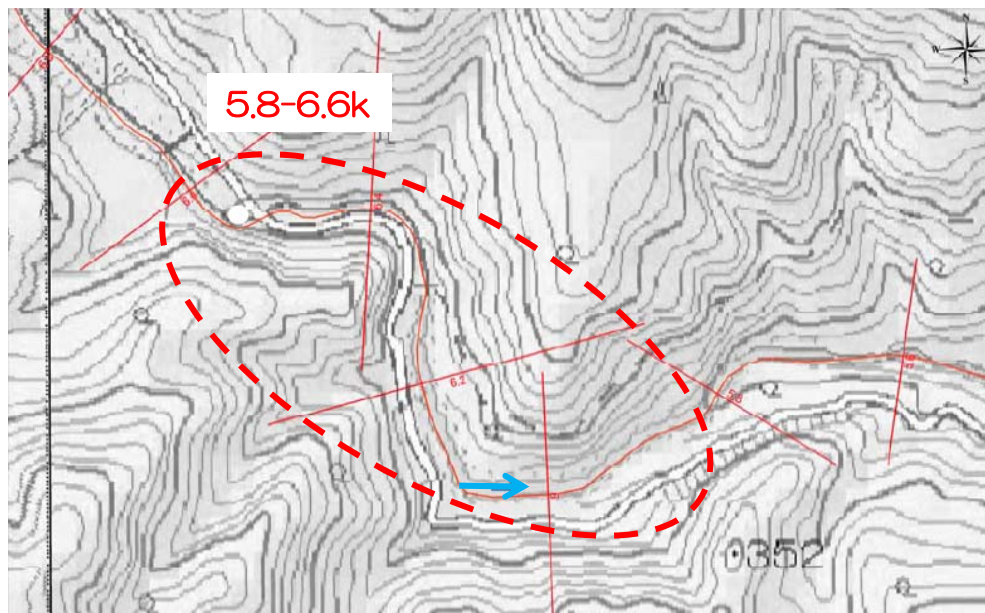


3.0k 堰口橋より下流をのぞむ

白田川 (5. 5.5k~6.9k)



6.9 k 付近県管理起点看板



6.4 k 付近白仙橋より下流をのぞむ

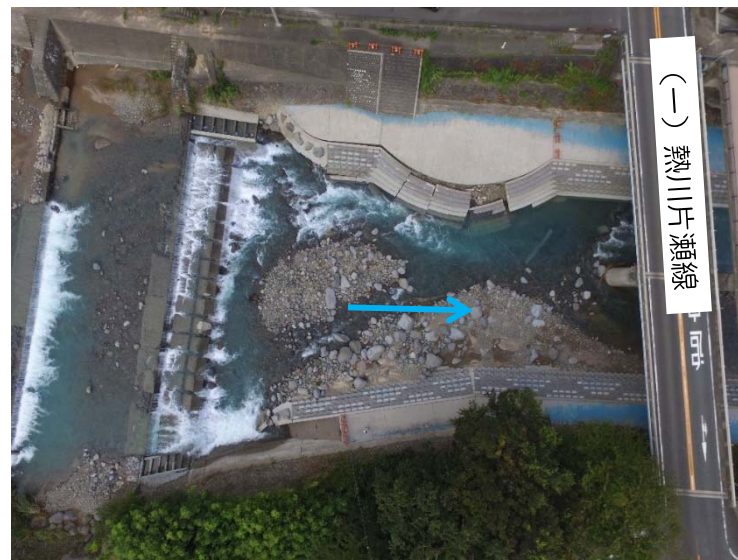


6.2 k 付近東京発電 (株) 取水堰

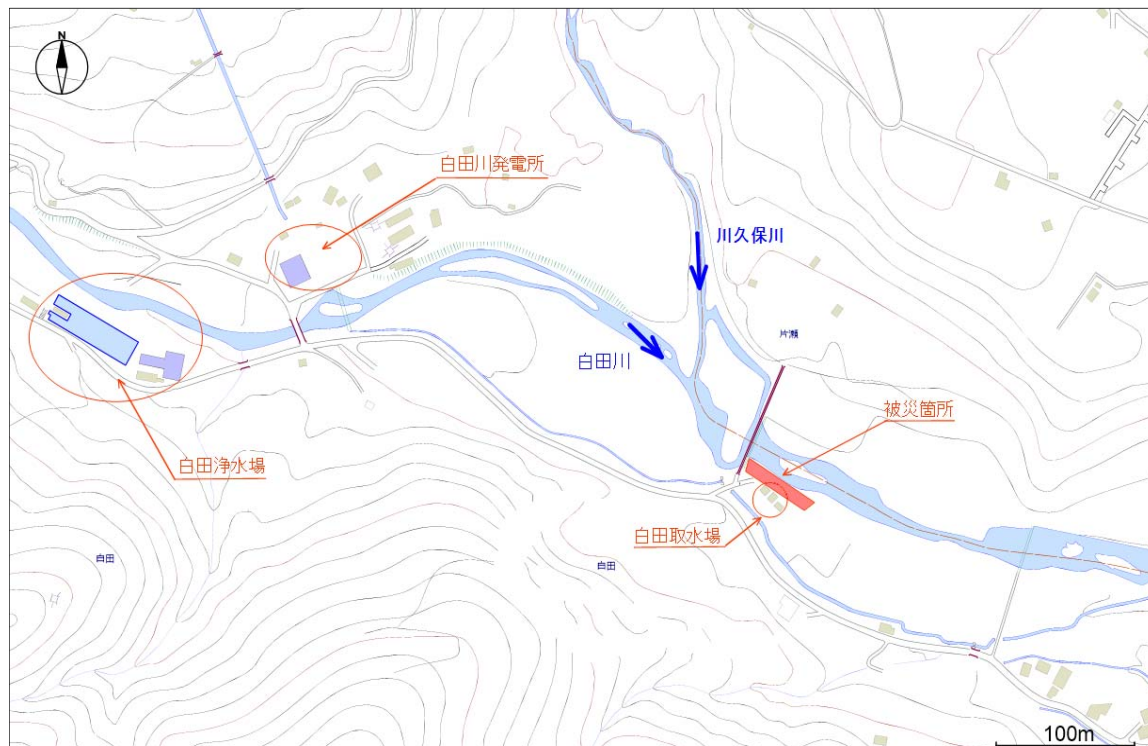
白田川（令和元年台風15号による被災）

令和元年9月10日から11日にかけて伊豆半島を通過した台風15号は、東伊豆町を貫流する白田川流域においても甚大な被害をもたらした。

河川からの溢水はなかったものの、河川断面内の河川管理施設等が各所において損傷した。



白田川（令和元年台風15号による被災） 町取水場



- 町取水場前面の護岸が被災した。浄水場建屋の被害はなかったものの、建屋基礎まで迫る程の水位であった。
- 直上流に架線していた落合橋は床版部分が破損したため、撤去した。



町取水場上流より、被災箇所をのぞむ



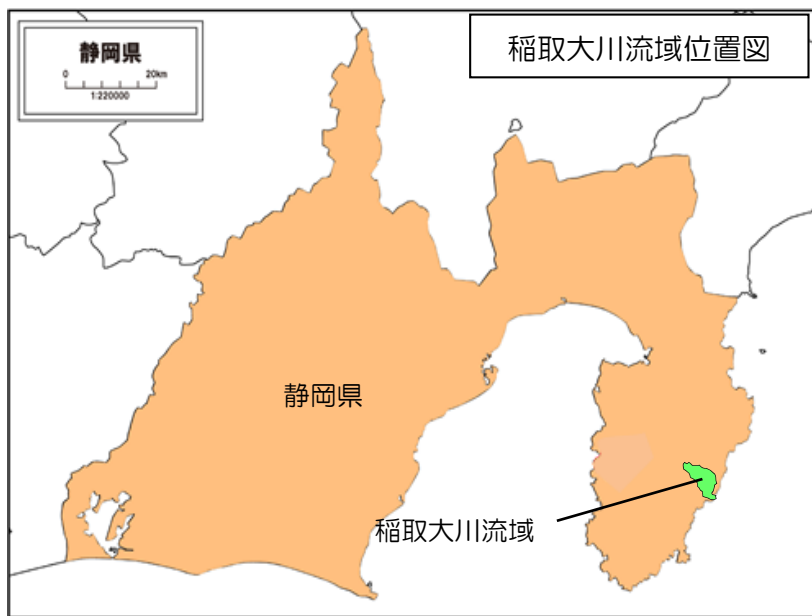
被災箇所の現状（災害復旧中）



被災箇所を下流からのぞむ

稲取大川（流域の概要）

- 二級河川稲取大川は、相模湾に注ぐ流路延長1.2km、流域面積5.94km² の二級河川である。
- 流域は全て東伊豆町に属している。
- 流域に開けたわずかな平坦地に集落及び農地が散布している。

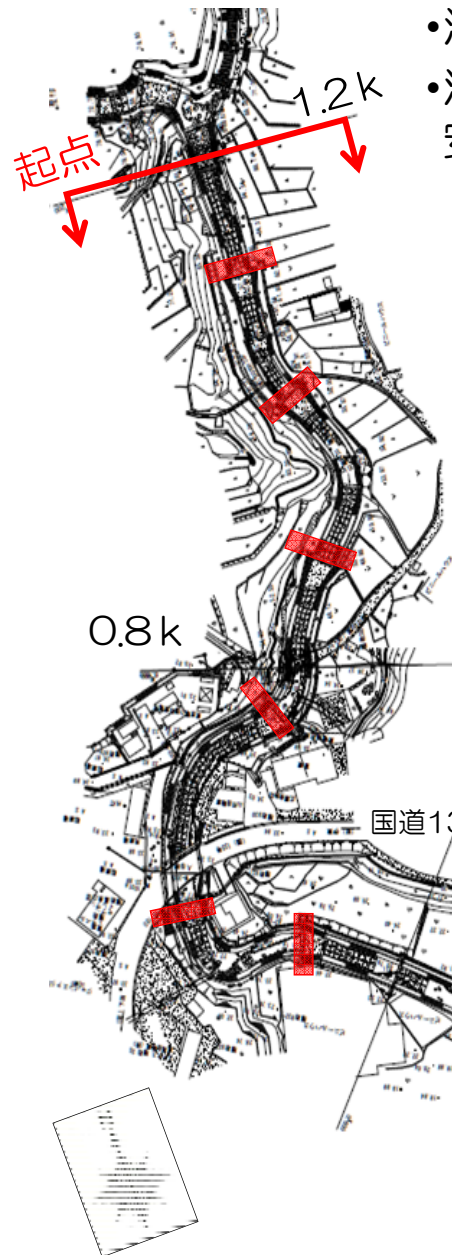


水系名	河川名	区間延長 (km)	流域面積 (km ²)
稲取大川水系	二級河川 稲取大川	1.20	5.94

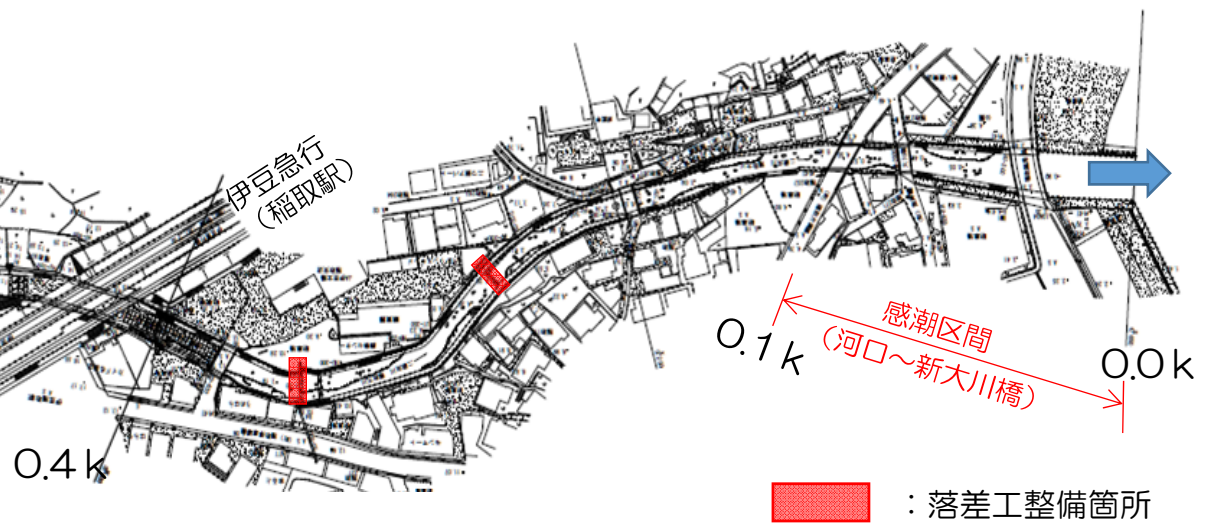
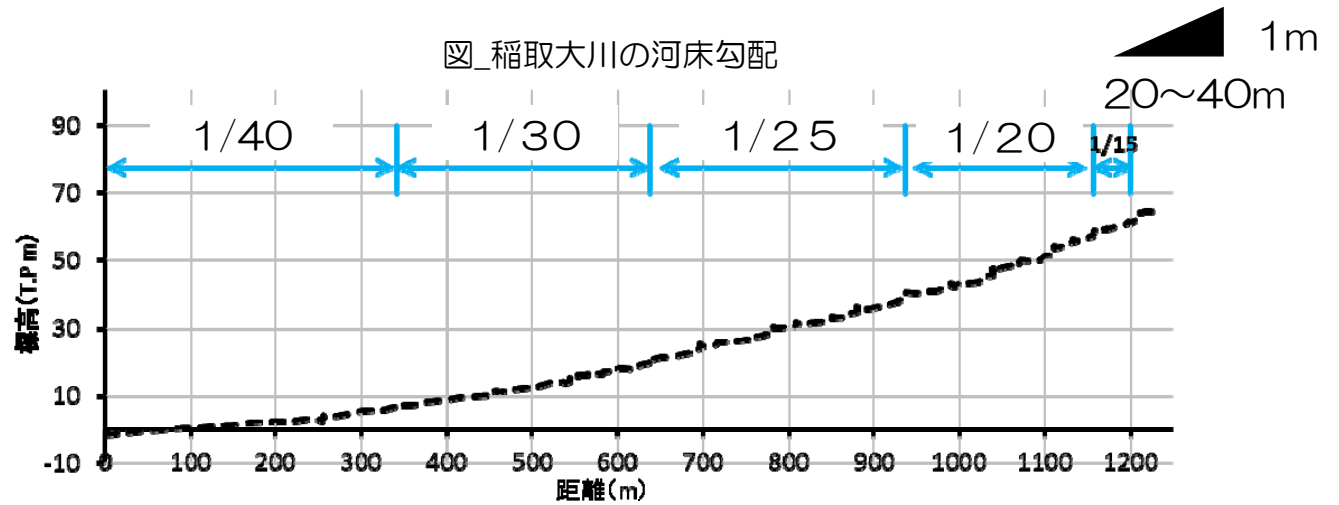


稲取大川（全体平面図）

- 沿川は家屋等が連担しており、河道は湾曲部が多い。
- 河床勾配は、0.0kより約1/40～1/20と急峻である。このため、河床を安定させるための落差工が連続して設置されている。



図_稲取大川の河床勾配

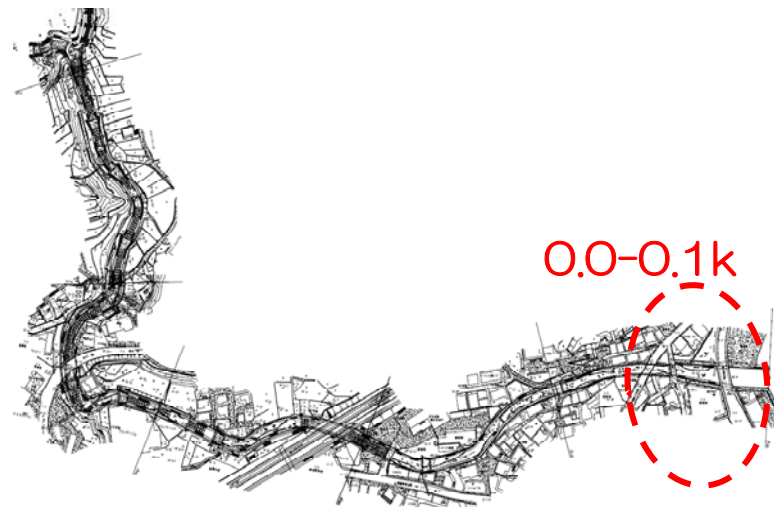


稲取大川（1. 0.0k~0.1k）



町道大川橋より稲取臨港橋をのぞむ

- 町の防災拠点となる町役場に隣接した河口沿川は家屋等が連担している。



稲取漁港（県管理）

稲取臨港橋より稲取漁港をのぞむ



稲取臨港橋より上流をのぞむ

稲取大川（2. 0.3k~0.6k）

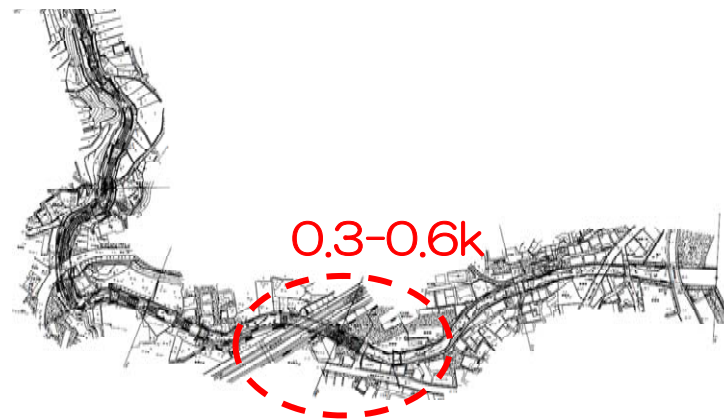


0.4k付近



0.3k 付近

- 0.4kから上流は、急峻な河床を安定させる目的で床固工などが整備されている。
- 0.5k付近において伊豆急行の駅舎・線路が渡河している。



伊豆急稲取駅上流（0.6k）部

稲取大川（3. 0.8k~1.2k）

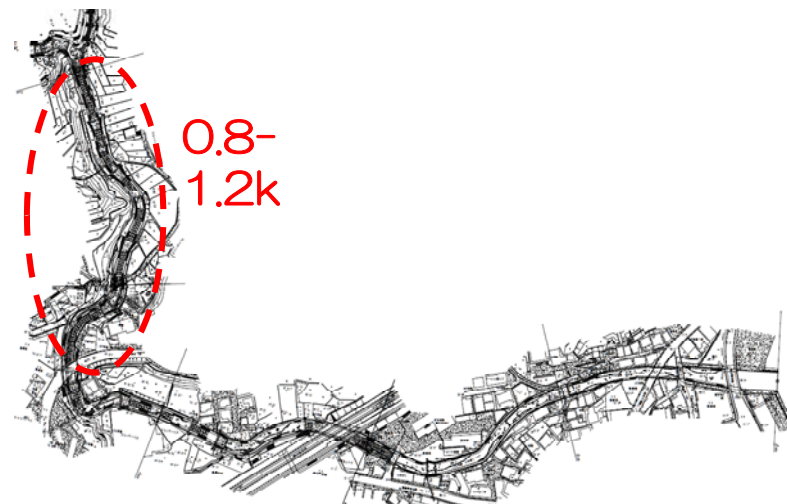
0.8k 付近より下流を望む



0.8k 付近より国道橋をのぞむ



- 1.1kでは県管理区間最上流の落差工が整備されている。



1.1k 付近より県管理起点（1.2k）をのぞむ

